

わが家のマイ・タイムライン

目安	<p>【前提：夫、妻、子ども2人（中学2年生、小学6年生）の4人家族、赤坂町（秋山川右岸付近）在住】</p> <p>-7.2 h 平素から、避難要領を家族と相談し、家族一人ひとりの役割を決定しておく。決定した内容を、マイ・タイムラインに記入し、家族全員と共有しておく。ハザードマップにより、秋山川が氾濫した場合、自宅の位置は、3m～5mの浸水があることを確認したため、避難が必要だと判断する。 家族全員の体調を把握しておく。(担当:妻) 夫婦で相談し、車で植野小学校に「高齢者等避難」が発令されたタイミングで避難することを決定する。 避難経路は、県道〇〇号に入り、〇〇交差点を左折し、そのまま道なりに進み、植野小学校に向かうことに決定する。運転は、夫が行う。 県道〇〇号が通行止めの場合は、〇〇道へ迂回して植野小学校へ向かう。 予備の避難所は、南中学校とする。避難経路は、県道〇〇号に入り、〇個目の信号を左折し、道なりに進み、南中学校に向かうことに決定する。</p> <p>平素から、非常持ち出し品のチェックリストを作成し、備蓄しておく。(担当:夫) チェックリストを基に、非常持ち出し品を再確認し、足りない物を買うに行く。(担当:妻) (例:食料品、飲料水、子どもの1週間分の薬、妻のコンタクトレンズ、救急セット、マスク、体温計、アルコール消毒液、ウェットティッシュ、衣類、工具、懐中電灯(予備電池含む)、携帯ラジオ、洗面用具、固形燃料、嗜好品等) 家族全員の今後の予定を確認し、ノートにまとめ、見えるところに貼っておく。(担当:妻) 班長及び隣家の〇〇さんと反対隣の〇〇さんの電話番号を確認し、夫と子どもに共有しておく。(担当:妻) 家族全員の電話番号が各自登録してあるかを確認する。(担当:妻) 浸水しそうな箇所に土嚢を設置する。終わり次第、側溝の清掃をする。(担当:夫、子ども) ベランダの物干し竿を自宅の中に入れる。(担当:妻) 車のガソリンを満タンにしておく。(担当:夫) 家電や書類を2階にあげる。(担当:夫、子ども)</p> <p>秋山川上流の雨量をインターネットで確認する。(担当:夫) 台風の進路をテレビ、ケーブルテレビ、気象庁のHP、防災アプリで確認する。(担当:夫) 避難情報をテレビ、ケーブルテレビ、佐野市防災・気象情報メール、防災行政無線、佐野市HP、Twitterで確認する。(担当:夫、子ども) 河川の水位情報をテレビ、国土交通省「川の防災情報」WEBサイトで確認する。(担当:妻) 交通規制情報をインターネットで確認する。(担当:妻) 渡良瀬川河川事務所の態勢、栃木県の態勢、佐野市の態勢をそれぞれのHPで確認する(担当:夫) 子どもの学校について、佐野市HPで確認する。(担当:妻) 確認した情報は、家族全員に共有する。(担当:夫、妻) 町会と連絡を取り合い、情報を収集する。(担当:夫)</p> <p>-4.8 h 家族全員の体調を把握しておく。(担当:妻) 再度、マイ・タイムラインを確認する。(全員) これまでの準備、確認事項に漏れがないか確認する。(担当:夫) 非常持ち出し品を車に積む。(担当:夫、子ども)</p> <p>-2.4 h 家族全員の体調を把握しておく。(担当:妻) 秋山川上流の雨量をインターネットで再確認する。(担当:夫) 台風の進路をテレビ、ケーブルテレビ、気象庁のHP、防災アプリで再確認する。(担当:夫) 避難情報をテレビ、ケーブルテレビ、佐野市防災・気象情報メール、防災行政無線、佐野市HP、Twitterで再確認する。(担当:夫、子ども) 河川の水位情報をテレビ、国土交通省「川の防災情報」WEBサイトで再確認する。(担当:妻) 交通規制情報をインターネットで再確認する。(担当:妻) 渡良瀬川河川事務所の態勢、栃木県の態勢、佐野市の態勢をそれぞれのHPで再確認する。(担当:夫)</p> <p>-1.8 h 子どもの学校について、佐野市HPで再確認する。(担当:妻) 確認した情報は、家族全員に共有する。(担当:夫、妻)</p> <p>-1.1 h 避難する服装に着替える。(各自) スマートフォンとモバイルバッテリーを充電しておく。(各自)</p> <p>-7 h 近所の〇〇さん宅と〇〇さん宅に、避難をするよう呼びかける。(担当:妻) 避難することを隣家の〇〇さんに電話で連絡する。繋がらない場合は、反対隣の〇〇さんに電話で連絡する。(担当:妻) 避難することを班長に電話で連絡する。繋がらない場合は、メールで残しておく。(担当:夫) 避難情報をテレビ、ケーブルテレビ、佐野市防災・気象情報メール、防災行政無線、佐野市HP、Twitterで再確認する。(担当:夫、子ども) 避難所の開設状況を、テレビ、ケーブルテレビ、佐野市防災・気象情報メール、防災行政無線、佐野市HP、Twitterで確認する。(担当:夫、子ども) 戸締りをし、電気ブレーカーを落とし、家を出る前の最終確認を行う。(1階:夫と子ども、2階:妻) 貴重品を持っているか確認する。(各自) 避難していることがわかるようなメモ(例:〇月〇日〇〇時から〇〇〇避難所に家族全員で避難中)を玄関に貼る。(担当:夫)</p> <p>-5 h 避難情報をテレビ、ケーブルテレビ、佐野市防災・気象情報メール、防災行政無線、佐野市HP、Twitterで確認(担当:夫、子ども) 「高齢者等避難」が発令されたことを確認し、避難所が開設されたことが確認でき、さらに避難経路の状況も確認ができたため、植野小学校へ車で全員避難する。 (今回の台風は、令和元年東日本台風(台風第19号)と比べて勢力が大きいことから、余裕を持って避難を行う。)</p> <p>移動中は周囲を注視し、なにかあれば夫に伝える。(各自)</p> <p>-3 h 避難完了 非常持ち出し品をもって受付を済ませる。(各自) 家族がまとまって滞在できるように、スペースを確保する。(担当:夫または妻) 班長に避難が完了したことを電話で伝える。繋がらないときは、メールを残しておく。(担当:夫)</p> <p>0 h 町会長(不在の場合は、避難所開設担当職員)に避難所の運営に協力する旨を申し出る。(担当:夫) 子ども2人の体調を管理し、何かあればすぐに夫に電話し、避難所開設担当者に申し出る。(担当:妻) 今後の気象情報及び水位情報をインターネットで確認し、夫に情報共有できるようにしておく。(担当:妻)</p>
----	--